

次世代システム『ブルーオーシャンノート』管理者セミナー

【テーマ】三識（意識・知識・組織）ケアを考える

～三識ケアを促す、育成する為に～

I. 意識は気づきから

(1) 気づきは見て知るから

- * ケア記録プロットが点在した空間（24 時間×複数利用者／24 時間×カレンダー／ケア区分×カレンダーなど）を見渡し、「なに?」「おや?」と視覚的に気づく
- * 「何を記録するのか」に気づく
- * 利用者への関わり、ケアの「なぜ?」に気づく

II. 記録を知識管理へ

(1) 管理ルールに基づく記録収集・集積

目的に応じた記録管理ルールを定め、ケア現場で全職員が同一視点で一定水準の記録収集が必要です。その為には、ケア内容の可視化や業務の明確化と共に、簡便な@収集ツールの活用が求められます。

- * 『ケアプラン実施記録』 @ケアプラン 24 時間ワークシート
- * 『習慣化（無意識・有能）ケア記録』 @チェック表
- * 『指示・約束ケア記録』 @パターン記録
- * 『随時記録』 @ケア・サービス記録フォーム

(2) 記録活用による専門スキルの向上・育成

- * 原因と背景要因把握による予防ケア、リスクマネジメント
- * 記録検索や実績管理による連続性・相関性・関連性の視点

III. 組織ケアに活かす情報管理

(1) 他職種連携・協働業務の効率化を図る情報管理【施設サービス】

- * 知りたい、知らせたい情報のデータマイニングと活用

(2) 途切れる人・サービスを繋ぐ情報管理【居宅サービス】

- * 法人内事業所ネットワークと記録活用
- * スケジュール管理とルーチンワークと報告・連絡・相談
- * 家族⇄事業所によるニードとデマンド管理

※「現場百回」で学ばせて頂いた事例から、ご一緒に考える機会になれば・・・と願っております。

講師 山田美智子

講師プロフィール

前FDS代表取締役、現在福祉分野の研究事業、講演、職員研修、サービス管理等にかかわり活動している。